

彦名通信

No. **153**
平成20年7月



入学式



新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション



前期中間試験

目次

新年度特集

校長より	2
入学式の様子	2
副校長、各主事より	3
学生相談室長、キャリア支援室長より	4
後援会長より	4
新任教職員挨拶	5

クラス便り

1年機械工学科	6
1年電気情報工学科	7
1年電子制御工学科	8
1年物質工学科	9
1年建築学科	10

研究活動

研究紹介	11
------------	----

地域交流

地域共同テクノセンターの紹介	11
----------------------	----

クラブ便り

クラブ紹介	12
活動報告	12
松江高専定期戦	13

学生会便り

学生会紹介	13
学生会活動	13

トピックス

トピックス	14・15
前期行事予定	15

専攻科便り

専攻科長より	16
専攻科生研究交流会	16
編集後記	16

米子高専の機関別認証評価結果

校長 水島 和夫



全国の高等専門学校は、学校教育法に基づいて、教育研究等の総合的な状況について7年に1度、文部科学大臣の認証を受けた評価機関によって評価を受けることが義務づけられています。この「機関別認証評価」は、定期的な評価により各校の教育研究活動の質を

保証するとともに評価結果を学校にフィードバックすることで教育研究活動等の改善に役立て、また、社会に評価結果を示すことで広く理解と支持をいただくためのものです。

昨年度は、本校がこの認証評価を受ける年でした。評価は、評価機関である大学評価・学位授与機構によって行われ、学校の目的、教育組織、教育内容・方法、教育の成果、学生支援、施設設備、管理運営等の詳細な自己評価の結果と資料に基づく書面調査、さらに、教育専門家から成る調査団が来校して、教職員、学生、卒業生からのヒヤリング等を行う訪問調査がありました。

そして、今年3月、評価結果が公表され、米子高専が高等専門学校評価基準を満たしていることを大学評価・学位授与機構が証明する認定証をいただきました。

評価結果では、次のような点が本校の優れている点として示されました。

1. 準学士（本科）課程において、創造力を発揮させ、考える力、問題発見能力などの創造性の基礎

的素養を育む教育方法の工夫がなされており、成果として、全国レベルのコンテストにおいて入賞するなど、創造性教育によって、技術者としての考え方を体得し、実践的・創造的技術者の育成がなされている。

2. 準学士課程、専攻科課程ともに、就職率が高いだけでなく、主な就職先企業の業種も、製造業、情報・サービス産業、建設業など専門性をいかしたものとなっている。また、進学率も高く、主な進学先も工学系大学や大学院などを中心とし、専門性をいかした進学状況となっており、教育の成果や効果が十分に上がっている。

本校の教育研究活動等の評価については、これまでも、自己点検評価報告書（平成18年3月）や、本校評議員会（鳥取大学、鳥取県教委、米子市、地元産業界関係者や、後援会、同窓会関係者から構成）による外部評価などを行ってきましたが、今回、文部科学大臣の認証を受けた全国的認証評価機関から、本校の教育内容や、卒業生の進路関係など高い評価をいただくことができました。今後とも、教育・研究や学生支援、地域貢献等より一層の充実を目指して点検を重ねながら努力を続けていきたいと思ひます。

なお、今回の機関別認証評価の詳細や自己評価書、また、これまでの各種評価の結果等については、本校ホームページで誰でも閲覧できるようになっています。

入学式の様子

4月5日（土）本校第一体育館にて入学式が挙行されました。入学生数は、機械工学科40名、電気情報工学科43名、電子制御工学科42名、物質工学科41名、建築学科44名、編・転入学生8名、留学生2名、専攻科42名です。



副校長より

物質工学科 小田 耕平

副校長を含む総務という部署では、校内外向けの公式ホームページ（HP）の管理や外部評価に係るアンケート調査など、主に対外的な業務を担当しています。公式HPは、2007年度に全面的にリニューアルを行い、発信源入力を基本とすることで、すばい情報発信を行うことが可能となりました。また、トップページの記事に写真も掲載できるようになったため、インパクトのある記事を提供できるようになりました。一方、昨年度末には全学生を対象として学習環境などに関するアンケート調査を行いました。このアンケートは、図書館情報センターや実験実習室など学習環境に対する学生の満足度調査を行ったものです。総務では、このアンケート結果を纏め、各部署に結果を報告しました。現在、各部署で学習環境を改善するための検討と取り組みを行っています。

総務主事補：青 木(C)、山本英(D)



教務主事より

電子制御工学科 香川 律

経済協力開発機構（OECD）が、15歳児を対象に行う学習到達度調査（PISA）の2006年調査（57カ国・地域が参加）で、日本は、科学的リテラシが6位、読解力が15位、数学的リテラシが10位でした。経済大国、技術立国を自負する我が国ですが、客観的なデータとして文部科学省も真摯に受け止め、“理数教育と言語活動の充実”を重要課題として掲げました。一方、グローバル化が叫ばれ、卒業生の多くが、海外出張や駐在経験を持つようになって、本校もいよいよ、JABEE（日本技術者教育認定機構）認定に向け本格的な受審準備に入りました。JABEEは、ワシントン・アコード（技術者教育の質を保証し合う国際協定）に正式加盟しており、これに認定されれば、卒業生の力が国際的に認知され易くなります。保護者の皆様のご理解やご協力を頂きながら、今後とも本校教育システムの充実・向上に努めて参ります。



教務主事補：竹 内(G)、浅 倉(E)、小川和(C)
権田岳(M)、松本幸(A)

寮務主事より

機械工学科 大塚 茂

今年度から新しく寮務主事を拝命いたしました機械工学科の大塚です。どうぞよろしくお願い致します。皆さんが御存知のように本校の学生寮は遠方から通学困難な学生が利用する生活の支援施設であるとともに教育寮としての側面も持っています。平成20年度5月現在の寮生数は、新入寮生として、1年生男子34名、1年生女子8名、3年次の編入留学生2名（マレーシア1名、カンボジア1名）、4年次の編入学生4名の計48名を加え、総勢254名となりました。例年に続き、男子寮の充足率は90%を超える非常に高いものとなっています。この寮生たちを支える寮運営には教員10名、事務職員2名、寮母3名、計15名の教職員があたり、さらに高砂寮寮長をはじめとする寮生会の役員諸君も日常における寮生活の主体的自治・運営を行うことで、本校の教育寮としての立場を維持・強化してくれています。ところで、毎年寮では年度の方針を掲げることになっています。今年度のスローガンは「社会で役立つ共同生活の場を目指して - Better Community with Cooperation - (6C for 2C) です。具体的には、(1)寮生会役員をはじめとする寮生との信頼関係を保つ (Confidence & Communication) (2)ゴミ問題を中心とした生活環境の改善に取り組む (Clean & Comfortable) (3)新入寮生（本科1年）の寮生活への順応を図る (Conform & Care) です。学寮生活が高専での良き思い出、さらには社会生活を送る上での鍛錬の場になるようスタッフ全員でサポートしていきます！



寮務主事補：能登路(D)、南 (G)、松 野(A)、加 藤(G)
中 島(G)、田 口(A)、里 村(C)、井 上(D)、田中博(E)

学生主事より

一般科目 山藤 良治

本校のホームページを開いてみて下さい。学生のさまざまな活躍を紹介しています。課外活動の成果や奉仕活動等々、誉められ感謝されることですが、当の本人にとっては周りの評価やひょっとしたら結果さえもたいしたことではなくて、自分に納得できるかどうか、「自分を褒めてあげたい」と言えるかどうかの方が、よほど大切に思えるのではないのでしょうか。褒めてあげたい自分は誇らしく、それがプライドであり、原動力になっていると思います。



残念ながらまったく逆に、非難され処罰される行動があります。マナー違反にしろ犯罪にしろ、他人にバレなかったとしても、自分にはごまかしがありません。ゴミのポイ捨てに万引き・窃盗、面倒くさくないとか得をしたという感覚なのではないでしょうか、その行為に向き合えば、みじめで情けなく誇りなど持ちようもない自分に気付くはずで。

大好きな自分、褒めてあげたい自分であるために、自分の言動を見直してみして下さい。

学生主事補：権田英(E)、高 増(A)、中 山(D)
兼 子(A)、越 智(G)、大 庭(G)、谷 藤(C)
大 野(G)、岡 (特命主事補、G)

学生相談室長より

一般科目 大原 啓道

『学生相談室』と聞いて皆さんは何を想像しますか。それより、この場所が校内のどこにあるか、また、何をするとところかを知っている人はどのくらいいるでしょう？

『学生相談室』はあまり存在を知られていないのが現状ではないかと思えます。『保健室』を知らない人は無いでしょう。学生相談室の場所はその隣にあります。

ニンゲンは心と身体バランスが壊れかけると、危機に陥ります。危機の一手手前で相談室に来てくれれば、ひょっとしたら、君の学校生活は楽しさを取り戻せるかもしれません。世の中に悩みの無い人はいません。どうか、まず何か困った事があったら『学生相談室』に来てみてください。

今年の相談室の活動としては、3年生を対象とした『健康ヨガ教室』をやります。この彦名通信が出る頃には、もう4クラスが終わっていると思います。

スタッフの先生達は色々の研修会に出かけて学生相談のスキルを磨いています。どうか、学生相談室を活用してください。

今年の学生相談室のスタッフは下記の通りです。

学生相談員：

田原麻里(C)、布施圭司(G)、黒川友紀(G)

看護師：三澤美千子(保健室)

校外カウンセラー：

宮城徹朗(精神科医)、権代直子(カウンセラー)

キャリア支援室長より

電気情報工学科 松原 孝史

キャリア支援室は、本校における学生のキャリア形成、進学および就職活動を支援することを目的に本年度新設されました。室長は電気情報工学科松原、副室長は一般科目外国語科酒井、事務を学生課が担当します。

今や本校の有効求人倍率は優に20倍を超え、完全に売り手市場になっています。しかし、中には自分の職業適性のミスマッチや社会適応力が不足しているために苦労している卒業生もあるように聞いています。本支援室では、本校入学時より学年進行に合わせたキャリア形成教育プログラムを適用し、職業適性検査、資格取得支援、企業見学、職業観を涵養する講演などを通じて基礎キャリア形成を行い、高学年時にはインターンシップ活動、就職支援をクラス担任と連携して、学



生が希望する職業に最適な状態で就けるように支援を進めて参ります。どうかご協力よろしくお願い申し上げます。

副室長：酒 井(G)

後援会長より

南場 千尋



この度、私儀、後援会長を拝命いたしました。

後援会は保護者の皆様の組織であり、会長以下役員・代議員は保護者の皆様からその運営をお任せいただいています。ですから、この後援会の活動はしっかりと保護者の皆様や学生の皆さんに向けたものでなければなりません。そういう意味で、活動がオープンで、学校の様子や学生の様子などを含めた情報提供が、しっかりとされることが求められていると思います。そうした皆様方からの委託をしっかりと胸に刻み、保護者の皆様の後援会づくりを、より一層進めていく所存でございます。今後の後援会の運営につきまして、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ところで、本年度の入学式でもお話しさせていただいたのですが、「我が国の、将来を担う『ものづくり』の、基盤技術を支える、創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した、実践的な技術教育を行う。」とこの米子高専はその『教育理念』で謳っています。しかしながら、この中の「ものづくり」が、今の「日本」を語っていく中で、忘れられてしまった言葉のように思えてなりません。この日本という国は、今まで「ものをつくる」と言う事で支えられ、成長してきた国です。しかしながら昨今の日本は、「ものづくり」を忘れ、小手先で目先の利益を追いかける、それが経済や社会全体の主流となってしまっているように思えます。だからこそ、日本の国全体に、何ともいえない閉塞感が漂っているのだと思えてなりません。この閉塞感を払拭し、再び日本の国が、世界に誇りうる国となっていくためには、もう一度、日本の原点である「ものづくり」が求められていかなければならないと思いますし、必ず求められていくものと思います。そして、その「ものづくり」を原点としている学校が、この米子高専です。ですから、米子高専の学生の皆様はこれからの日本の国の基本となる「ものづくり」を、支えていく大切な人材となります。この点をしっかりご理解いただき、残りの高専の時間を過ごしていただきたいと思います。そして、保護者の皆様方も米子高専の理念をご理解いただき、一体となってしっかりと学生たちをバックアップしていただけたらと思います。

最後になりますが、個人情報の取扱いについてお願い申し上げます。米子高専では、学生・保護者の皆様から提出されました書類を基に、各クラス毎の学生名簿を作成し、氏名・住所・保護者名・緊急連絡先(電話番号)・出身中学校等個人が特定・識別できる情報(「個人情報」)を使用し、学校全体の運営、中でもクラス運営、後援会運営を行っております。つきましては、学生の個人情報の取扱いに関しては個人情報保護法及び関連法令に準拠して使用し、この目的以外に使用することはありませんので、この使用に関しまして、皆様ご承諾いただきますよう、後援会からお願い申し上げます。

この一年間よろしくお願い申し上げます。

新任教職員挨拶



電気情報工学科
准教授 乾 正博

3月まで大阪の企業に勤めておりました。ご縁がありまして、皆様と仕事をさせていただくこととなりました。企業では、主に電力関連の仕事に従事しておりまして、その間に得た知識や経験を若い人にお伝えできればと考えています。以前に野球界で活躍した実在の選手が新米教員として活躍する「フルスイング」というドラマをNHKで放映していましたが、私も同様に「フルスイング」でがんばりますので、よろしくお願いします。



電気情報工学科
助教 田中 博美

このたび電気情報工学科の教員として着任することになりました。高校を卒業した頃より「教育・研究職に携りたい」と強く思っておりまして、本校で教鞭をとることができ大変嬉しく思っています。学生みなさんの『将来の礎を築く大切な時期』を預からせてもらっていることを忘れず、誠心誠意とめていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。



物質工学科
助教 谷藤 尚貴

出身は北海道函館市です。それから大学・仕事で全国を転々とした後、米子にやってきました。普段の散歩や学校の行事などを経て、ここでの生活にも慣れてきました。新米教員として授業も研究も試行錯誤の毎日ですが、学生の成長と幸せを最優先に考えた教育を目指し努力していきます。どうぞよろしくお願いします。



建築学科
准教授 玉井 孝幸

4月より建築学科の教員として赴任して参りました。有明高専を卒業後一貫して建築施工の実務畑を歩んできましたが、学生中勉強嫌いの私が一念発起して学位取得。実務者から研究者へ。今後は、学生に建築施工の実務や研究面の「楽しさ」とともに「苦しさ」も同時に伝えてゆきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いします。



建築学科
准教授 松野 一成

はじめまして、教員人事交流制度を利用し、呉高専から米子高専に4月1日に赴任してまいりました。専門は建築構造で、耐震補強を中心に研究活動を行っております。教員交流制度でこちらに参りましたので、米子高専に在籍できる期間は短期間ではありますが、呉高専での経験を活かし、米子高専の発展のために努力する所存です。よろしくお願いいたします。



一般科目(数学)
准教授 梶川 雄二

私は2年前まで米子高専に在籍していましたが、その後、故あって、鳥羽商船高専のほうでゴヤっかいになっていました。戻ってみると、久しぶりの米子高専なので、いろんな事が変わってあって、なれるのに少し時間がかかりそうです。4年生以上の人は私の事を知っていると思いますが、私のことを知らない1～3年生の皆さんもよろしくね。



一般科目(保健体育)
助教 大野 政人

保健体育を担当しております。専門はサッカーです。生まれてから大学院まで横浜で過ごした後、米子にやって参りました。研究内容は「なぜ足がつってしまうか」です。自分の足をつらせながら「何でだろう...」と日々考えております。目標は、毎日失敗経験を積むこと。新しいことに毎日挑戦していきたいと思っております。



総務課長
藤元 高德

米子高専にお世話になることになりました総務課の藤元です。岡山からまいりました。就職して20数年ですが、初めての岡山県以外の地での勤務で、公私ともに初めての事柄が多く、戸惑いながら日々を過ごしています。微力ではありますが、高専のお役に立てよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



総務課総務係
中村 憲行

4月より総務課総務係でお世話になる中村憲行です。以前は岡山で郵便局員として勤めていました。実家は米子で、このあたりの事は大体分かりますが、仕事の内容は全く以前と違うので戸惑いは感じています。いかに効率よく、みなさんがスムーズに業務、学校生活が送れるかを考え、頑張ります。よろしくお願いいたします。



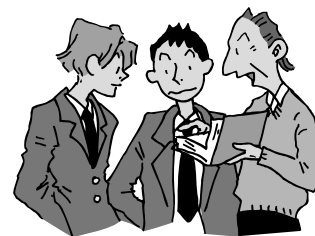
総務課人事労務係長
荒木 祥子

2年ぶりに米子高専に戻ってきました。前任地の島根大学では大学生の挨拶の清々しさにびっくりしたことを記憶しています。高専でも学生みなさんの気持ちの良い挨拶に元氣と若さを感じているところです。久しぶりに高専に帰ってきたのですが、変化していることに戸惑いながら、初心に戻り大学の経験を生かしつつ、微力ながら今後の高専の未来に貢献していけるように努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



総務課財務係
河村 尚弥

この度、鳥取大学から転任して参りました。学生さんの元氣溢れる力を、右肩にピシッ感じながら日々仕事に打ち込んでおります。新しい環境の中で、まだまだ戸惑うことも多いですが、米子高専の発展に少しでも貢献できるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



1 年 機 械 工 学 科

クラスデータ

学生数 41名 (男38、女3)

寮生数 7名

(鳥取西部1、鳥取中部4、鳥取東部1、岡山県1)



米子高専に入学して

田 原 功一郎

自分がこの学校で頑張りたいことは3つあります。まず1つ目は勉強です。自分には夢があります。その為には勉強しないといけません。2つ目は部活です。自分はスターリングエンジン部に所属しています。工作機械の操作は複雑で難しいですが、先輩方の説明を聞いて実際に操作してみて正しく使えるようになりたいです。3つ目は人間関係です。クラスの人とは、クラス替えがなく、これからずっと付き合っていくので、クラス全員と仲よくなりたいと思います。この他、自分は寮生なので、色々な当番の仕事があったりして、自由な生活は出来ませんが、礼儀が身についたり、勉強や仕事等で分からないことがあったら、優しい先輩に聞いたりすることが出来るので、良かったと思います。これからもしっかりと頑張っていきます。

米子高専に入学して...

渡 部 一 幸

高専に入学して約2ヶ月が経ち、最初は環境の変化に戸惑うことが数多くありましたが、今では高専生活にも徐々に慣れ、充実した日々を送っています。クラスもだんだんと打ち解けあい、良い雰囲気になってきました。

しかし勉強面ではやはり普通科の高校とは違い、学習内容も専門的なものが多く、むずかしいと感じることもあります。しかし、今の自分の目標を達成するために頑張っていきたいと思います。また、部活動も頑張りたいと思います。練習は決して楽なものではありませんが、優しく、厳しい先輩方に指導してもらっています。

勉強と部活動を両立させることに不安はありますが、先輩方にアドバイスをもらいながらこれから頑張っていこうと思います。



一般科目
酒井 康宏

担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

このクラスは、非常によくまとまっています。やる気を感じられますね。女子も3人もいて(?)女子にも過ごしやすいクラスだと思います。

どんなクラスになってもらいたいですか?

もちろん、機械のエキスパートになることは大切ですが、人のことを先ず真っ先に考えられる人になって欲しいですね。

最後にクラスの学生にメッセージを。

先にも述べましたが、他人を思いやる心を忘れないで下さい。君達一人一人は、「高専に咲きたったひとつだけの花」です。自分にしかない個性は大いに伸ばし、足りないところは補って下さい。最後に私が君達と同じ高校1年のとき、感銘を受けたシェイクスピアの言葉を贈ります。

"Fair is foul and foul is fair."

(短所は長所になるから、くじけずに頑張ってください。)



1 年 電 気 情 報 工 学 科

クラスデータ

学生数 44名（男41、女3）
寮生数 9名
（鳥取中部4、鳥取東部2、兵庫県2、広島県1）



米子高専に入学して

足立 優 樹

米子高専に入学してから一ヶ月以上が過ぎました。この一ヶ月間でびっくりしたことは、勉強の進むスピードが早いということです。中学の時とは違い、恐ろしいぐらいの早さで進んでいきます。でも僕はそれに負けずに日々ちょっとずつでも勉強を頑張って、落ちこぼれないようにしたいです。もう一つびっくりしたことは、校舎が異常なまでに広いということです。僕はこの高専の校舎で何度か迷子になりかけたことがあります。そして僕は迷子にならないために決めたことがあります。それはなるべく一人では行動しない!!ということです。トイレに行くのも、売店に行くのも、友達を誘ってから行きます。友達はぼちぼち出来ました。僕は知らない人にも話しかけるとい癖があるので、知り合いはたくさん増えました。学校生活は楽しく過ごすことが出来ているので勉強も頑張り、もっと楽しく思えるように日々を生活していきたいです。

学級委員に選ばれて

米 田 篤 史

米子高専に入学してから、もう一ヶ月が過ぎました。学級委員に選出されて、僕は、ちゃんと委員として仕事ができるのか、またこのクラスを引っ張っていけるのか、とても心配でした。ですが、クラスのみんなが指示通り動いてくれて、委員としても話し合いを進めやすいです。クラスの雰囲気はとても良く、笑い声が絶えません。そして、授業始めのあいさつの声や、授業中の集中力など、メリハリもあります。僕はこのクラスを支え、まとめる委員長として、五年間付き合う仲間として、今のクラスの雰囲気がくずれないように一所懸命に頑張っていきたいです。



一般科目
平澤 信一

担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

みんな元気が良いです。あいさつの声もととても大きくて、気合いが入っています。笑い声が絶えないクラスです。

どんなクラスになってもらいたいですか？

いまのままの明るく楽しいクラスであり続けてほしいです。自分の仕事に責任を持つ態度も身に付けてほしいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

一年の間には、いろいろあるだろうと思うけど、最後までよろしく！



1 年 電子制御工学科

クラスデータ

学生数 48名(男47、女1)

寮生数 11名

(鳥取中部6、鳥取東部3、兵庫県1、山口県1)



高専に入学して

廣 江 翼

入学して約2ヶ月が経ちました。最初の方は休憩時間も静かで、硬い雰囲気だったけれども、今は、昼休憩など友達と一緒に弁当を食べたり、話をしたりと明るくなりました。

テストなど難しいし、毎年たくさんの留年生が出ているということで、6月にある前期中間試験では、いつもより早めに勉強を始めておきたいと思います。

もっとこのクラスに馴染んで、5年間頑張りたいと思います。

高専の感想

渡 邊 尚 之

まず寮のことです。僕は病気のため2日遅れで入寮しました。寮は自分の予想をはるかに越えていました。いろいろと厳しい生活ですが、今はけっこう慣れてきました。これまでは家で自由気ままに過ごしていたので、自分のことは自分でしなければならない寮生活は大きな壁です。しかし、この寮生活を終えたとき、自分が得るのは通学生の何倍もあると思います。だから、これから5年間ずっと寮にいろように頑張りたいと思います。

次に学校生活では、最初の1週間はまだ緊張が解けずクラスが「シーン」としていました。喋る相手は同じ中学校の人か寮生だけでした。でも、大山でのオリエンテーションが終わって慣れてきたらたくさんの人と喋れるようになりました。また勉強面では、中学校とは違いひとつの単元をじっくりとせず、ハイペースで進むのでついて行くのが難しく今までとは違うなあ、と思います。しっかり復習をしたいです。

最後に部活は水泳部に入りました。僕だけが素人で、すごい速さの違いがありますが、頑張っって追い抜けるようになりたいです。でもすごく楽しい部活です。



電子制御工学科
河野 清尊

担任より

48人の森の仲間たちへ

1Dの森に迷い込んだら、6人の古株と42人の新入りがいました。我がもの顔に森の中を闊歩する古株を、新入りたちは木や草の陰に隠れて、息をひそめてジッと見ていました。騒ぎがありました。SOSがありました。森からの脱走?もありました。いま2ヶ月が過ぎようとして、それぞれがやっと自分の居場所を見つけ、森の中での新しい生活に慣れてきたようです。

まだまだこれから、いろいろな問題や出来事が発生すると思いますが、48人が協力して解決してくれることを願っています。仲間を大切に、まとまりのあるクラスになることを期待しています。私も森の住人としてみんなを支え、少しでも力になればと思っています。

この1年間、挨拶をすること。遅刻をしないこと。教室を綺麗にすること。この3つを守ってください。私も努力します。みんなも努力してください。そして、清々しく学年末を迎えましょう。

...6/2/2008 夢 R



1 年 物 質 工 学 科

クラスデータ

学生数 42名（男24、女18）

寮生数 5名（鳥取中部1、鳥取東部2、兵庫県2）



オリエンテーションを終えて 浅 中 美 有

私は、このオリエンテーションで本当の自分を出す事ができました。入学してから1週間で、クラスの子とはほとんどしゃべったり、仲良くなった友達ができたりしましたが、まだ本当の自分を出せていませんでした。でも、オリエンテーションを通して、友達の事をたくさん知る事ができ、自分のこともたくさん知ってもらえたと思います。

この2日間で、学校のこと、友達のこと、これからの生活でとても大切なこと、などたくさんを知ることができ、とてもいいオリエンテーションだったなと思います。本当は、この学校で5年間やっていけるかなと少し不安だったけど、このオリエンテーションですごく楽しになりました。一生懸命頑張りたいと思います。そして、楽しいこれからの高専生活に、2日間で学んだことを生かしていきたいです。

僕のクラス

平 岡 拓 洋

僕のクラスはとても団結力があと思っています。授業のときは、みんなが先生の話をよく聞き、私語は慎み、進んで取り組んでいます。そして、ふだんの休憩時間などでは、男女関係なくお互いが教え合ったりしています。僕は、とてもいい雰囲気だなあと感じながら見えています。これからこのクラスで5年間過ごしていくことがとても楽しみです。共に笑い共に泣く、もっとみんなが協力して心をひとつにできる、そんなクラスを作っていきたいです。



物質工学科
田原 麻里

担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

全体の雰囲気は、明るく、活気のあるクラスだと思います。女子の活発さに男子がやや押されているような気もしますが...

どんなクラスになってもらいたいですか？

集団生活での最低限のルールは守って、お互いが快適な学生生活を送れるようなクラスを作っていってもらいたいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

「やってはいけないこと」、「やらなくてはいけないこと」を常に意識した上で、楽しく有意義な学生生活をおくってください。



1 年 建 築 学 科

クラスデータ

学生数 47名（男28、女19）

寮生数 12名

（鳥取西部1、鳥取中部2、鳥取東部3、県外6）



1 日の濃密

村 上 大 昂

ぼくがこの高専に来てもうすぐ2ヶ月がたちますが、この米子高専の生活で思うことは、1日の濃密度がすごく濃いということです。平日は、朝起きて学校へ行き、7時間の授業を受けた後、部活をして、その後は（ぼくは寮生です）すぐに夕食と風呂をすまし、自習時間の後、明日の用意をし、だいたいの1日が終わります。実際、中学校の頃よりも相当忙しい生活になりました。毎日体力ギリギリで大変です。しかし、その分、毎日がとても充実していますし、めりはりのついた良い生活が送れていると思います。そして何より、ぼくは今までにないくらいに一生懸命にこの生活を送っています。この生活の先に自分の夢が待っているんだと考えると自然にがんばれます。これからも毎日全力投球でがんばっていききたいです。

Fight!

山 根 万 実
吉 田 千 紘

高専に入学して、しばらく経ちましたがここに入学して本当に良かったと思いました。勉強は少し難しいですが、友達もたくさんできてとても充実した日々を過ごしています。高専は校則に縛られていた中学時代と違って、校風が自由なのではじめは戸惑っていましたが、それにも慣れてすごく楽しいです。

小さい頃から物作りが好きで、ずっと高専に入りたいと思っていたので、今の高専生活はとても楽しいです。

これから勉強もどんどん難しくなると思うので、気を抜かずに精一杯、自分なりに頑張っていきたいと思っています。これからも楽しくなることを期待しています。



建築学科
山田 祐司

担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

建築に関心を持って入学してくれた学生と、そうでもない学生で、日々の行動に徐々に違いが見えてきたような感じがします。また授業中に積極的に発言してくれるような学生は少ないようです。

どんなクラスになってもらいたいですか？

勉強とそれ以外のこと（部活、友達との交友など）の間にしっかりけじめをつけ、両方を充実させていけるようになってもらいたいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

美しい建築を作るための第一歩は自分の身の回りを美しく保つことです。掃除当番に期待する前にごみになるべく出さないように心がけましょう。



研究活動

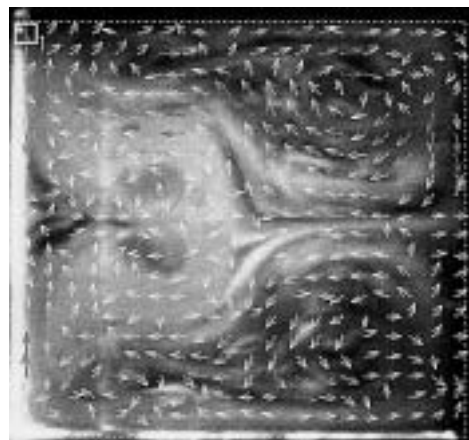
研究紹介

機械工学科 早水庸隆研究室

流体の流動・混合特性を知ることは、流体エネルギーの有効利用・変換の新方法の開発等に欠かすことのできないものです。

現在、本研究室では、曲がり管内流やマイクロチャネル内流の流動・混合特性の解明、マイクロバブル発生装置の評価・検討、さらに、マイクロミキサーやマイクロポンプの開発を行っています。

主に、レーザー、高速度カメラ、顕微鏡などを用いてマクロからマイクロスケールの流れの可視化を行い、得られた流れの連続画像（動画）を対象に粒子画像流速測定（PIV: Particle Image Velocimetry）やマクロ処理などから流動と混合の関係を研究しております。掲載しております写真は、曲がり管内流のPIV結果の一例です。



研究紹介

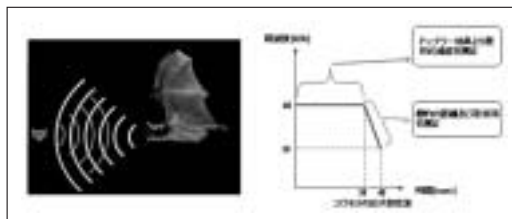
電気情報工学科 奥雲正樹研究室

当研究室では、コウモリを参考にした多機能な超音波センサシステムを代表とする、様々な機能を持った超音波センサシステムの開発研究に取り組んでいます。

超音波を使った測定システム（主に距離計測）としては、身の回り



では自動車に搭載されている衝突防止システムが馴染み深いと思います。これに代表される従来の超音波センサシステムは、物体距離のみの測定に限られていました。そこで私の研究室では、コウモリが超音波をうまく使って暗闇でも自由に飛んでいることに着目し、こういったコウモリ有能力（エコーケーション能力）を参考にして、物体の距離だけでなく、移動速度、表面形状、輪郭などを測定できる新しい超音波センサシステムの開発研究をおこなっています。



地域交流

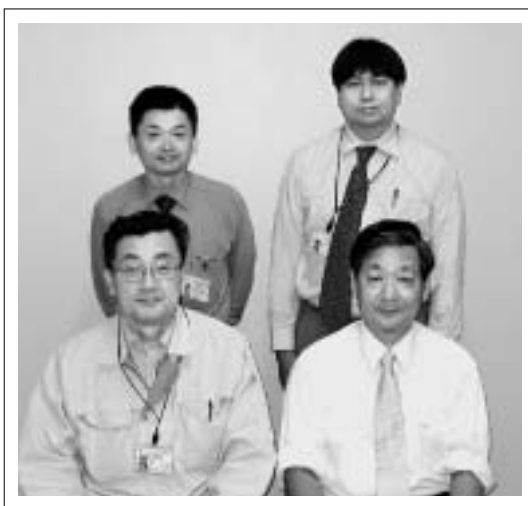
地域共同テクノセンターの紹介

センター長 機械工学科 足立 新治

米子高専地域共同テクノセンターは、高専と地域社会の窓口として、民間企業等と高専との研究協力（共同研究、受託研究、技術交流等）技術相談、人材育成事業等により地域産業界の技術開発及び技術力向上を推進し地域の産業力の向上に貢献するとともに、「地域に開かれ、地域と共に歩む高専」として、広く地域社会の発展、活性化に寄与することを目的としています。これらの目的のため、公共団体や産業支援機関等と連携し、広く産官学連携、地域連携を図る中で次の活動を推進しています。

共同研究及び受託研究等の推進
技術交流及び技術相談の推進
公開講座等地域における人材育成の推進
地域との連携及び交流等の推進

また、平成20年度は、（財）鳥取県産業振興機構と共に国の委託事業「高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業」に取り組み、地域貢献に寄与したいと考えています。



副センター長： 乾（E）

センター長補：森田慎（M） 玉井（A）

クラブ便り

ソフトテニス部

クラブ紹介

顧問 一般科目 越智 信彰

ソフトテニス部は、男女あわせて約40名が在籍しており、キャプテンの4 A寺本君、副キャプテンの3 M仲田君を中心に、毎日一生懸命練習しています。普段の練習は、1～5年生に専攻科生も交えて、部員同士で盛んにアドバイスや意見交換をしたり、お互い切磋琢磨しながら、クラブ全体のレベルアップを図っています。

ここ数年、最大の目標である「全国高専大会出場」は果たせていません。昨年の中国高専大会では、団体戦決勝で7連覇中の呉高専を崖っぷちまで追い詰めたものの、最後に体力面の弱さが露呈して逆転負けを喫し、惜しくも全国キップを逃しました。しかし、随所で見た気迫のこもったプレー、一体となって声を枯らした応援など、得られたものも非常に大きかった大会でした。今年こそぜひ優勝をと、部員一同練習に熱がこもっています。今後ともご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



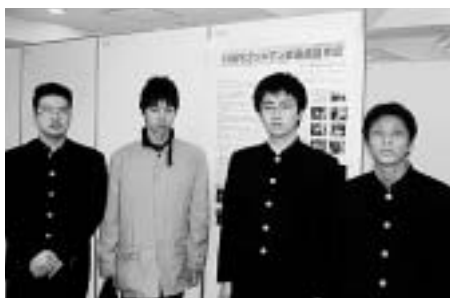
日本天文学会で研究発表しました!!

3D 大島 功也

日本天文学会2008年春季年会在3月26日から東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。我々科学部は高校生以下の発表の場であるジュニアセッションで「10吋ドブソニアン望遠鏡製作記」というタイトルで研究発表を行いました。

これは、昨年1月に兵庫県川西市在住の三好清勝様より寄贈していただいた口径10吋の反射鏡を用いて大型望遠鏡を製作し、それを使って近隣の小学校などで天体観望会を開催した結果について報告したものです。

学会では非常に多くの方々にご感想、意見、励まし、そしてお叱りなどを頂き、とても充実した時間を過ごしました。我々はこれをはげみに、さらに質が高く、そして米子高専らしい活動を展開していこうと考えています。



ポスター会場にて

軽音楽部

クラブ紹介

部長 5D 遠藤 紘平

こんにちは！僕たちは武闘派文系、軽音楽部です。

主な活動として、毎年高専祭でライブを行なっています。3日間で30バンド近く出演する

ライブで、第1体育館で今年も行なわれます。高専生のみなさんはもちろん、保護者の方や一般の方、以前見たことがある人も初めての人も、お気軽にご来場ください！

また、高専祭ライブ以外にも新入生歓迎ライブ、卒業ライブ、不定期企画ライブを米子ペリエで開催します。日程が決まり次第掲示しますので、興味のある方は是非足を運んでやってください！



陸上競技部は今年も更に躍進します！

顧問 一般科目 南 雅樹

I．第61回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

【5/9～11：高知市春野】

4 D遠藤が中国四国ブロック最大の学生選手権において、100m 4位、200m 6位の入賞と両種目の自己記録を更新しました。また、100mで2008日本学生個人選手権の出場権を得ました。

II．第43回鳥取県高等学校総合体育大会

【5/31～6/2：米子市東山】

3 D番原が男子八種競技で準優勝となり、インターハイの出場権を懸けた中国高校総体への出場権を得ました。また、2 E森本（砲丸投7位）も中国総体出場にもう少しで手が届く活躍を果たしました。

100m, 400m, 110mH, 1500m, 走幅跳, 走高跳, 砲丸投, やり投の8種目を行い、各種目の記録に応じた得点を合計して順位を決定する競技

III．2008日本学生陸上競技個人選手権大会

【6/6～8：神奈川県平塚市】

国内の大学トップ選手が集い、北京五輪を狙う選手も多く出場していました。4 D遠藤は、腰痛のため必ずしも万全な状態ではない中で、昨年度高校No.1の小林（法政大）とほぼ互角の走りを見せましたが、惜しくも準決勝進出はなりませんでした。



4D遠藤の男子100mスタート

対松江高専定期戦

松江高専との第43回定期戦が5月17日に米子・松江の両会場にて行われました。同日、文科系クラブ等の交流会も行われました。

総 合 成 績

米子高専
5勝8敗



バスケットボール部

	米子高専	松江高専
バレーボール男子	0	2
柔 道	1	4
剣 道	3	0
野 球	3	22
		(7回コールド)
テ ニ ス	3	0
バスケットボール男子	40	84
ソフトテニス男子	1	2
ソフトテニス女子	0	3
サ ッ カ ー	1	1
P K (3	4)
卓 球	5	0
水 泳	121	175
ハ ン ド ボ ール	25	14
ラグビーフットボール	38	5



卓 球 部



サッカー部

学生会便り

平成20年度学生会

学生会長 5M 村社 優希

今年の学生会は、とても活気のある個性的なメンバーが揃いました。それぞれに良いところがあり、全員を1つに纏める事は大変ですが、たくさんの学生に毎日楽しく過ごしてもらえるように一致団結して頑張っていきたいです。さて、学生会としての今年度の抱負は、球技大会や高専祭などの行事を盛り上げ、さらに、さまざまな行事を通して学校同士の連携を取っていくことです。

5月21日の球技大会では、天気にも恵まれ、勝ち負けだけでなく多くの楽しさが詰まった球技大会になりました。普段運動不足の学生も良い運動になったと思います。

これからも、全ての学生、また教職員の方々に楽しんで頂けるよう力を合わせ努力していきたいです。



清掃活動

学生会長 5M 村社 優希

4月18日(金) 米子市の一斉清掃に合わせて米子高専の周りを学生のボランティアを募り清掃しました。

学生会として初めての仕事だったので、最初の段階では上手くいか正直心配でした。しかし、準備の段階から学生会と寮生会で連携をとりながら動いて行くことができ、流れ良く作業が行えたのだからこそ、無事清掃活動を開催することが出来たのだと思います。

清掃当日は小雨のばらつくあいにくの天気でしたが、100人近くの参加者が集まり、皆で傘をさしながら学校の周りを清掃し、地域との密着した学生会活動を催す事ができ、大変嬉しく思います。

教職員も参加し、たくさんのゴミが集まり学校の周りが綺麗になったので、とても良い環境が整ったと思います。そういった環境を崩さないよう、これからは今まで以上に努力していきたいです。こういった企画を今後も行えるように、学生会や寮生会、教職員と話し合い頑張っていきたいです。

参加してくれた学生の皆さん、並びに教職員の方々、本当にありがとうございました。



平成19年度高等専門学校機関別認証評価

副校長 小田 耕平

本校は、平成19年度に本科及び専攻科の教育内容及び学習環境など11の評価基準に沿って自己点検し作成した自己評価書に基づき、独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施する「高等専門学校機関別認証評価」を受審し、以下の評価結果を得ました。

【認証評価結果】

米子工業高等専門学校は、大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準を満たしている。

特に優れた点として、以下のことが挙げられる。

準学士課程の創造性を育む取り組みの中で、創造力を発揮させ、考える力、問題発見能力などの創造性の基礎的素養を育む教育方法の工夫がされている。

準学士課程及び専攻科課程ともに、就職率（就職者数／就職希望者数）及び進学率（進学者数／進学希望者数）が高く、教育の成果や効果が十分に上がっている。

本校では、この評価結果を今後の教育研究活動等の改善に役立てます。なお、評価結果の詳細については、ホームページ（トップページ 外部評価・自己点検評価 機関別認証評価）をご覧ください。



認定証

進路面談会を開催

学生主事 一般科目 山藤 良治

3月23日（日）の進路懇談会の日に合わせて、企業及び大学の担当者を招き、進路面談会を開催しました。昨年度に続き2回目となる今回は、ここ数年の企業の採用意欲の強さを反映し、124社もの企業の参加がありました。大学については、試験の時期までは少し間があるためか6校の参加でした。

就職試験や編入試験を間近にひかえた4年生と専攻科1年生が、企業・大学ごとに設けられたブースに出向き、担当者から会社の業務内容や大学の概要などについて熱心に説明を聴いていました。企業・大学の担当者と直接話せる貴重な機会ということで、意欲的な学生は、事前に訪問スケジュールを作り、午前の部の開始早々から多くのブースを回っていました。夕方には会社のパンフレットをいっぱい抱えた学生が、興奮気味にお互いの情報を交換している姿が見られました。

なお、2月27日、28日には、それぞれ「鳥取県の産業・企業紹介フェアIN米子高専」、「鳥取県の中部地域企業見学会」を実施し、県内企業を知る機会を設けました。こちらにも多くの学生が参加し盛況でした。



大阪で関西企業とビジネス交流会を開催

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、2月22日、大阪市北区の鳥取県大阪事務所交流室において、鳥取県大阪事務所と共同で「平成19年度ビジネス交流会」を開催しました。



この交流会は、米子高専の先進的な研究を関西地区の企業へ紹介するとともに、産学連携による共同研究、受託研究を推進しようとするもので、今年の交流会には関西地区の企業など30社から約40名の参加がありました。

交流会では、水島和夫校長による米子高専の特色について紹介があった後、米子高専における研究成果について、機械工学科大塚宏一助教による「人工関節の摩擦磨耗特性に関する実験的研究」、物質工学科池田彰教授による「住環境改善に向けた電解式小型オゾン発生素子の開発」と題した2件の研究発表が行われました。

発表後に行われた情報交換会では、発表内容に関する多くの質疑があったほか、企業から米子高専への研究支援の希望や求人に関する相談などが寄せられ、たいへん実りある交流会となりました。

平成19年度 英語検定単位取得者

一般科目 英語科

実用英語検定2級（3単位）

3 E 松本苑子 4 C 門脇嗣規

実用英語準2級（2単位）

2 E 楠本雄裕 2 A 生田翔人・濱田 駿

3 D 土橋遼平 3 A 北野日和子

工業英検3級（2単位）

2 D 笠見康敏 2 C 下村栄介 3 C 野口太郎

工業英検4級（1単位）

1 M 石本佳和・高平真生 1 E 岡崎祐樹・来海 亮

1 D 福田克英

2 M 西林郁弥・太田拓巳・仲田 悟・安森健人

2 E 板底 潤・大塚健太・大西章弘・楠本雄裕
中原雅博・谷本大和

2 D 伊藤夏織・西尾 直・松本良子・西嶋理絵

2 C 金元麻弥・清水章皓 2 A 濱田 駿

TOEIC

4 M ズルヒルミ（2単位）

4 D 遠藤紘平（3単位）・宮田将司（3単位）

4 C 田原由樹（3単位） 5 D 中尾 亮（2単位）

5 D ケネット（8単位）

掲載している学年は、平成19年度のものであります。

平成19年度学生表彰の追加

彦名通信152号に掲載した「平成19年度学生表彰」について、以下の3名の追加がありましたので、お知らせいたします。

特別優秀賞

全国高等専門学校デザインコンペティション2007

構造デザイン 最優秀賞 ほか 5 A 高柳 秀明

優秀賞

全国高等専門学校デザインコンペティション2007

構造デザイン 最優秀賞 ほか 5 A 安井 郁也

美術同好会 第28回中国地区高等専門学校文化連盟

美術部合同展示会 最優秀賞 2 A 桑本 円

平成20年度 編入学生の紹介

3年次編入学生（外国人留学生）

3M アブドゥラ ピン モハメド カミル
(ABDULLAH BIN MOHAMED KAMIL)

はじめまして、アブドゥラと申します。マレーシアから来ました。私は米子高専に入る前は、高専での学生生活について全然分かりませんでした。しかし、今では入学して1ヶ月が経ち、だんだん日本の生活に慣れてきました。ここで日本語が上手になるために、たくさんの友達を作って、自分の力でもっと頑張ろうと思っています。

マレーシアは年中蒸し暑い国と呼ばれています。ですから、日本と比べると、暑さが全然違います。また、マレーシアには三つの大きな民族があるので、色々な食事がありません。マレーシアの食事はおいしいですが、少し辛いです。有名な果物もいっぱいあります。例えば、ドリアンとか人気がある果物です。

日本についてまだ知らないことがたくさんあります。もっと様々なことを教えてもらいたいと思います。皆さん、宜しくお願いいたします。

4年次編入学生

- 4E 山田 大（鳥取県立米子工業高校より）
- 4D 長野 紘也（熊本県文徳高校より）
- 4C 藤田雄大マイケル（神戸市立科学技術高校より）
- 4A 家原 克志（島根県立松江工業高校より）
- 4A 海野 一輝（岡山県立東岡山工業高校より）

3E リム ホンカイ
(LIM HONGKAI)

はじめまして。私はカンボジアから来ましたリム・ホンカイと申します。2007年4月に日本に来て、東京の日本語教育センターで1年間日本語の勉強をしてきました。東京では電車がたくさん走っているし、歩いている人がたくさんいるし、大きな建物がたくさんありびっくりしました。切符の券売機を初めて使いました。一番安い切符は120円ですが、カンボジアで120円を稼ぐには一日中働く必要があります。日本で雪を初めてみました。カンボジアでは雪が降らないので感動しました。2008年4月に米子に来ました。米子は静かな場所ですし、クラスメートや先生がいつも親切にしてくれるので、私は米子のことがとても好きになりました。カンボジアの一番有名な場所は、アンコールワットです。アンコールワットはとて大きな石を使って建造された立派な寺院です。ぜひカンボジアに行ってアンコールワットを見てください。私は日本の文化をたくさん知りたいです。また日本語を上手に話せるようになりたいです。まだわからないことがたくさんあるので、ぜひいろいろと教えてください。皆さん、どうぞよろしくお願いします。

4年次転入学生

- 4A 山田 純子（津山高専より）

■ 平成20年度行事予定（前期） ■

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火	春季休業	1 木		1 日	高校総体	1 火		1 金	オープンキャンパス 夏 季 休 業	1 月	
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土		2 火	
3 木		3 土	憲法記念日	3 火		3 木		3 日		3 水	
4 金	始業式・ガイダンス	4 日	みどりの日	4 水		4 金	臨時休業	4 月		4 木	
5 土	入学式・ガイダンス	5 月	こどもの日	5 木		5 土	中国高専大会	5 火		5 金	
6 日		6 火	振替休日	6 金		6 日		6 水		6 土	
7 月		7 水		7 土	前期中間試験	7 月	臨時休業	7 木		7 日	
8 火		8 木		8 日		8 火		8 金		8 月	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土		9 火	
10 木		10 土		10 火		10 木		10 日		10 水	
11 金		11 日		11 水		11 金		11 月		11 木	
12 土		12 月		12 木		12 土	保護者懇談会	12 火		12 金	
13 日		13 火		13 金		13 日	保護者懇談会	13 水		13 土	
14 月	新入生 オリエンテーション	14 水		14 土		14 月		14 木		14 日	
15 火		15 木		15 日		15 火		15 金		15 月	敬老の日
16 水		16 金		16 月		16 水		16 土		16 火	補講
17 木		17 土	対松江定期戦	17 火		17 木	特別日課	17 日		17 水	
18 金	開校記念日(通常授業)	18 日		18 水		18 金	臨時休業	18 月		18 木	
19 土		19 月		19 木		19 土		19 火		19 金	
20 日		20 火		20 金		20 日		20 水		20 土	
21 月		21 水	球技大会	21 土		21 月	海の日	21 木		21 日	前期期末試験
22 火		22 木		22 日		22 火		22 金		22 月	
23 水		23 金		23 月		23 水		23 土		23 火	秋分の日
24 木	健康の日	24 土		24 火		24 木	夏季休業	24 日		24 水	
25 金		25 日		25 水	演劇鑑賞会	25 金		25 月		25 木	
26 土		26 月		26 木		26 土		26 火		26 金	
27 日		27 火		27 金		27 日		27 水		27 土	
28 月		28 水		28 土		28 月		28 木		28 日	
29 火	昭和の日	29 木		29 日		29 火		29 金		29 月	補講
30 水		30 金		30 月		30 水		30 土		30 火	
		31 土	高校総体			31 木		31 日			

専攻科便り

新年度にあたって

専攻科長 物質工学科 竹中 敦司

4月より専攻科長を務めることになりました。以前に専攻科委員として専攻科に関わったことがありましたが、ここ数年で本校専攻科を巡る情勢が大きく変化したように思います。今後、専攻科のカリキュラム改訂、レビュー、さらに学校全体としてJABEE受審といった重要な課題が残されています。今年度から松本正己副専攻科長(E科)、山口顕司専攻科長補(M科)、藤井雄三専攻科長補(C科)を加え4名体制になりましたので、専攻科の充実が図れると考えております。

さて、4月5日の入学式では生産システム工学専攻24名、物質工学専攻9名(うち女子4名)、建築学専攻9名(同5名)合計42名(同9名)の入学者を迎えることができました。2年生の34名(うち女子2名)とあわせると76名の大所帯になりました。専攻科進学希望者が増加した原因として、このところ専攻科生の進路が就職・大学院進学とも好調なこと、専攻科の認知度が上がったことなどがあげられると考えています。

4月25日、26日に37名の専攻科生諸君と参加した高知市での中国・四国地区専攻科生研究交流会では研究発表に対する専攻科生諸君の真摯な姿も見ることができました。専攻科は教員がつくるものではなく、専攻科生諸君の意思(こころ)によってつくられるものです。昨今の形だけの情勢に流されず、本物の勉強をして欲しいと思います。



平成20年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会に参加して

生産システム工学専攻 1年 花田 敏洋

平成20年度中国・四国地区専攻科生研究交流会が、4月25日(金)、26日(土)の2日間にわたり、高知市文化プラザ・カルポートを会場として開催されました。この交流会は、中国四国地区の高専専攻科生が集まり、日頃の研究成果の発表や意見交換を行うと共に、普段交流のない他高専の専攻科生同士の親睦を深めることを目的としています。

本年度、米子高専からは、専攻科生37名、教員9名の計46名が参加しました。学生は、機械、電気・電子、情報・制御、物質・化学及び土木・建築の5部門に別れて発表を行いました。発表時間が終わり、質疑応答の時間になると、同じ研究分野の専攻科生同士で、厳しい意見のやり取りや称賛、時には先生方からの質問、ご指摘もあり大変有意義なものとなったのではないのでしょうか。また初日の夕刻には、懇親会が開かれ、研究発表の緊迫感とは違う和やかな雰囲気では他高専の専攻科生、先生方と話ができました。

私は、この2日間を終えて感じたことがあります。自分の研究内容を相手にうまく伝えるためには、目を引くようなスライドやポスターを用意することも大切です。しかし、自分の研究の要点や意義を正確に伝えるための表現力、プレゼン力が大切であるということです。これらの力を身につけるためにも、専攻科交流会、高専シンポジウム及び学会発表などの機会を大切にしていきたいです。

最後に、参加手続き等にご尽力頂いた米子高専職員各位、並びに発表準備にご協力頂いた教員各位に厚く御礼申し上げます。

専攻科生研究交流会の様子



会場の高知市文化プラザ



プラザ入口にて



交流会の開会式

編集後記

彦名通信は、在校生の保護者を主な対象とした広報誌です。学生の日常の様子、クラブ活動・各種行事の様子、本校の研究・地域貢献活動等について、お伝えしていきたいと考えております。紙面へのご意見・ご感想を、メール(hikona@yonago-k.ac.jp)にてぜひお寄せください。今年度の編集委員は越智(G科)、加藤(G科)、中山(D科)、玉井(A科)の4名で、年4回発行予定です。

記事において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M...機械工学科、E...電気情報工学科、D...電子制御工学科、C...物質工学科、A...建築学科、G...一般科目、S...専攻科

例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。



学寮前の桜

発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL:0859-24-5023 FAX:0859-24-5029 印刷:(有)米子プリント社
E-mail:hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ:http://www.yonago-k.ac.jp/ メニューより「キャンパスライフ」